

平成21年度（平成20年度対象）

三豊市教育委員会 点検・評価報告書

平成21年8月

三豊市教育委員会

目 次

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 教育委員会活動の状況 | 1 |
| | (1) 教育委員会議の開催状況 | 1 |
| | (2) 教育委員会議での審議状況 | 1 |
| | (3) 教育委員会活動の概要 | 7 |
| | (4) 教育委員会に関わるその他の主な活動 | 11 |
| 3 | 具体的な推進施策の取組状況評価 | 13 |
| | (1) 点検・評価の対象 | 13 |
| | (2) 点検・評価の方法 | 14 |
| | (3) 点検・評価員会開催日及び協議事項 | 14 |
| | (4) 点検・評価結果の構成 | 15 |
| | (5) 点検・評価結果 | |
| | ①幼稚園の方針 | 16 |
| | ②小学校・中学校の方針 | 21 |
| | ③学校等施設耐震化の推進 | 28 |
| | ④生涯学習の方針 | 29 |
| | ⑤青少年の健全育成 | 37 |
| | ⑥人権教育の推進 | 39 |
| 資 料 | | |
| 1 | 教育委員会委員及び組織 | 43 |
| 2 | 公立学校施設の概要 | 44 |

1 はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正があり、教育委員会の教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を実施することが義務付けられました。

これは教育委員会の効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が、毎年、教育委員会の事務（教育長及び事務局の事務執行を含む）の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りながら、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

そこで三豊市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政を推進していくために「教育委員会事務事業の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2 教育委員会活動の状況

(1) 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、定例会は毎月一回開催、臨時会は必要に応じて開催。平成20年度は合計15回開催しました。

- ① 定例会 12回
- ② 臨時会 3回

(2) 教育委員会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「三豊市教育長に対する事務委任等規則」の規定に基づき、平成20年度は合計で81件について審議いたしました。

- ① 学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めること。 4件
- ② 教科用図書を選択すること。 1件
- ③ 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員（県費負担教職員を除く。）の任免その他の進退を行うこと。 1件
- ④ 県費負担教職員の任免その他の進退について内申を行うこと。 1件
- ⑤ 教育委員会規則を制定し、及び改廃すること。 35件
- ⑥ 教育委員会の所管に属する各機関及び委員会の委員の任免又は委嘱若しくは解嘱に関すること。 12件
- ⑦ 就学援助費の認定及び奨学生選考等に関すること。 14件
- ⑧ その他 13件

○平成20年度 教育委員会審議案件等一覧

| 開催日時 | 議案番号 | 協議事項 |
|----------------------|--------|---|
| H20.4.25(金) (定例会) | 議案第1号 | 三豊市教育委員会事務局等の職員の職名に関する規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第2号 | 三豊市奨学金貸付申請の認定について |
| | 議案第3号 | 平成20年度要保護・準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第4号 | 公民館主事・分館長・分館主事候補者の推薦について |
| | 議案第5号 | 三豊市体育指導委員規則の一部を改正する規則(案)について |
| H20.5.29(木) (定例会) | 議案第1号 | 平成20年度要保護・準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第2号 | 三豊市立幼稚園保育料条例施行規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第3号 | 平成20年度学校評議員の委嘱について |
| | 議案第4号 | 平成20年度幼稚園評議員の委嘱について |
| | 議案第5号 | 分館長・分館主事候補者の推薦について |
| | 議案第6号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会委員の委嘱及び任命について |
| | 議案第7号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会への諮問事項について |
| | 議案第8号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会会議運営規則(案)について |
| | 議案第9号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会会議傍聴規則(案)について |
| | 議案第10号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第1回会議について |
| H20.6.20(金) (臨時会) | 議案第1号 | 三豊市議会報告について |
| | 議案第2号 | 生徒指導について |
| H20.6.30(月) (定例会) | 議案第1号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第2号 | 三豊市立幼稚園保育料減免措置の認定について |
| | 議案第3号 | 三豊市立小学校・中学校の通学区域および学校の指定に関する規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第4号 | 三豊市立幼稚園の通園区域および園の指定に関する規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第5号 | 公民館分館主事候補者の推薦について |
| | 議案第6号 | 三豊市公民館運営審議会委員の委嘱について |
| | 議案第7号 | 三豊市体育協会補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第8号 | 三豊市文化協会補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第9号 | 三豊市文化財保護協会補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第10号 | 三豊市婦人団体連絡協議会補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第11号 | 三豊市青年団活動補助金交付要綱(案)について |

| 開催日時 | 議案番号 | 協議事項 |
|-----------------------|--------|---|
| | 議案第12号 | 三豊市PTA連絡協議会活動補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第13号 | 三豊市手をつなぐ親の会補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第14号 | 三豊市子ども会連絡育成協議会活動補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第15号 | 三豊市有形・無形民俗文化財後継者養成事業等補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第16号 | 三豊市重要文化財保存施設修理事業補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第17号 | 三豊市青少年健全育成市民会議補助金交付要綱(案)について |
| | 議案第18号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第2回会議について |
| H20.7.28(月) (定例会) | 議案第1号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第2号 | 社会教育委員の委嘱について |
| | 議案第3号 | 三豊市スポーツ振興審議会委員の委嘱について |
| | 議案第4号 | 三豊市文化財保護審議会委員の任命について |
| | 議案第5号 | 三豊市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱(案)について |
| | 議案第6号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第3回会議について |
| H20.8.27(水) (定例会) | 議案第1号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第2号 | 平成21年度使用小学校教科用図書の採択について |
| | 議案第3号 | 三豊市立学校体育施設利用条例の一部を改正する条例(案)について |
| | 議案第4号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第4回会議について |
| H20.9.25(木) (定例会) | 議案第1号 | 三豊市青少年健全育成市民会議が行う「平成20年度青少年健全育成表彰式並びに講演会」について |
| | 議案第2号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第4回会議について |
| H20.10.10(金) (臨時会) | 議案第1号 | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について |
| H20.10.28(火) (定例会) | 議案第1号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第5回会議について |
| | 議案第2号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| H20.11.28(金) (定例会) | 議案第1号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第2号 | 給食費の額の改定について |
| | 議案第3号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第6回会議について |
| H20.12.18(木) (定例会) | 議案第1号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第2号 | 三豊市就学前人権教育教材について |
| | 議案第3号 | 給食費の額の改定について |
| | 議案第4号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第7回会議について |
| H21.1.27(火) (定例会) | 議案第1号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第2号 | 三豊市宗吉かわらの里展示館及び宗吉瓦窯跡史跡公園条例(案)について |

| 開催日時 | 議案番号 | 協議事項 |
|----------------------|--------|---|
| | 議案第3号 | 三豊市宗吉かわらの里展示館及び宗吉瓦窯跡史跡公園条例施行規則(案)について |
| | 議案第4号 | 三豊市宗吉かわらの里展示館運営協議会規程(案)について |
| | 議案第5号 | 三豊市詫間町弓道場条例の一部を改正する条例(案)について |
| | 議案第6号 | 三豊市詫間町弓道場条例施行規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第7号 | 三豊市就学前教育・保育検討委員会第8回会議について |
| H21.2.24(火) (定例会) | 議案第1号 | 三豊市教育委員会の事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第2号 | 三豊市教育委員会事務局グループ制に関する規程(案)について |
| | 議案第3号 | 三豊市教育委員会職務権限規定の一部を改正する訓令(案)について |
| | 議案第4号 | 準要保護児童生徒の認定について |
| | 議案第5号 | 三豊市立小・中学校通学用ヘルメット購入補助金交付要綱の一部を改正する告示(案)について |
| | 議案第6号 | 三豊市宗吉かわらの里展示館及び三豊市宗吉瓦窯跡史跡公園条例(案)について |
| | 議案第7号 | 三豊市宗吉かわらの里展示館及び三豊市宗吉瓦窯跡史跡公園条例施行規則(案)について |
| | 議案第8号 | 三豊市詫間町弓道場条例の一部を改正する条例(案)について |
| | 議案第9号 | 三豊市詫間町弓道場条例施行規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第10号 | 三豊市学校給食センター事務処理に関する規程の一部を改正する訓令(案)について |
| H21.3.13(金) (定例会) | 議案第1号 | 小・中学校人事異動について |
| | 議案第2号 | 平成21年度三豊市奨学金貸付申請の認定について |
| | 議案第3号 | 平成20年3月・平成21年度準要保護児童生徒の認定について |
| H21.3.18(水) (臨時会) | 議案第1号 | 幼稚園等の人事異動について |
| | 議案第2号 | 三豊市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則(案)について |
| | 議案第3号 | 公民館長及び公民館主事候補者の推薦について |
| | 議案第4号 | 公民館分館長及び公民館分館主事候補者の推薦について |

○平成20年度 教育委員会議 報告等一覧

| 開催日時 | 報告番号 | 報告事項 |
|-----------------------|-------|---------------------------|
| H20.4.25(金) (定例会) | 報告第1号 | 所長・園長・校長合同研修会報告 |
| | 報告第2号 | 県市町教育委員会委員長・教育長会議報告 |
| | 報告第3号 | 全国学力・学習状況調査の実施にあたって |
| | 報告第4号 | 学校訪問について |
| | 報告第5号 | 児童生徒・職員事故等について |
| | 報告第6号 | 卒業式・入学式について |
| H20.5.29(木) (定例会) | 報告第1号 | 所長・園長・校長合同研修会報告 |
| | 報告第2号 | 四国教育長会報告 |
| | 報告第3号 | 学校訪問について |
| | 報告第4号 | 教育長部会総会報告 |
| | 報告第5号 | 児童生徒・職員事故等について |
| H20.6.30(月) (定例会) | 報告第1号 | 生徒指導関係について |
| | 報告第2号 | 児童・生徒の問題行動・不登校傾向問題について |
| | 報告第3号 | ノーテレビデー調査結果について |
| | 報告第4号 | 事故関係について |
| H20.7.28(月) (定例会) | 報告第1号 | 小・中校長合同研修会報告 |
| | 報告第2号 | 生徒・職員事故等について |
| | 報告第3号 | 21年度全国学力・学習状況調査について |
| H20.8.27(水) (定例会) | 報告第1号 | 生徒指導関係について |
| | 報告第2号 | 運動会について |
| | 報告第3号 | 情報管理について |
| | 報告第4号 | 全国学力・学習状況調査について |
| | 報告第5号 | 教員免許状について |
| | 報告第6号 | 保育所・幼稚園管理職登用について |
| | 報告第7号 | 網の目行動について |
| | 報告第8号 | 取水制限について |
| H20.9.25(木) (定例会) | 報告第1号 | 三豊市議会報告 |
| | 報告第2号 | 運動会について |
| | 報告第3号 | 三豊市教育方針について |
| | 報告第4号 | 保育所・幼稚園管理職登用について |
| | 報告第5号 | 21年度全国学力・学習状況調査について |
| | 報告第6号 | 生徒・職員事故等について |
| | 報告第7号 | 取水制限について |
| | 報告第8号 | 給食調理場関係について |
| H20.10.28(火) (定例会) | 報告第1号 | 保育所・幼稚園管理職登用について |
| | 報告第2号 | 三豊市・洞爺湖町姉妹市町少年交流事業の行程について |
| | 報告第3号 | 今後の学校給食施設のあり方について |
| | 報告第4号 | 三豊市教育方針について |
| H20.11.28(金) (定例会) | 報告第1号 | 教頭研修会について |
| | 報告第2号 | 公民館運営審議会について |
| | 報告第3号 | 三豊市教育委員会評価について |
| | 報告第4号 | 保育所・幼稚園管理職登用について |
| | 報告第5号 | 生徒・職員事故等について |
| | 報告第6号 | 学校給食調理場関係について |

| 開催日時 | 報告番号 | 報告事項 |
|-----------------------|--------|--------------------------|
| H20.12.18(木) (定例会) | 報告第1号 | 宗吉瓦窯跡史跡公園(仮称)の名称案について |
| | 報告第2号 | ゆめタウンの補導状況と健全育成講演会について |
| | 報告第3号 | 三豊市議会報告 |
| | 報告第4号 | 三豊市社会教育団体連絡協議会について |
| | 報告第5号 | 宗吉瓦窯跡史跡公園・ガイダンス施設の名称について |
| | 報告第6号 | 三豊市教育委員会評価について |
| | 報告第7号 | 保育所・幼稚園管理職登用について |
| | 報告第8号 | 生徒・職員事故等について |
| | 報告第9号 | 学校給食調理場関係について |
| H21.1.27(火) (定例会) | 報告第1号 | 宗吉瓦窯跡史跡公園の正式名称決定について |
| | 報告第2号 | 給食費関係について |
| | 報告第3号 | 三豊市教育委員会の事務事業の点検・評価について |
| | 報告第4号 | 詫間中学校体育館関係について |
| | 報告第5号 | 成人式について |
| | 報告第6号 | 子ども読書活動推進計画について |
| | 報告第7号 | 補導活動の状況について |
| | 報告第8号 | 学校給食調理場関係について |
| | 報告第9号 | 卒業式・入学式について |
| | 報告第10号 | 全国学習状況調査・体力調査結果について |
| | 報告第11号 | 生徒・職員事故等について |
| H21.2.24(火) (定例会) | 報告第1号 | 平成21年度卒業式・入学式について |
| | 報告第2号 | 三豊市子ども読書活動推進計画について |
| | 報告第3号 | 所長・園長・校長研修会について |
| | 報告第4号 | 三豊市教育委員会の事務事業の点検・評価について |
| | 報告第5号 | 耐震診断について |
| | 報告第6号 | 学校清掃について |
| | 報告第7号 | 支援ファイルについて |
| | 報告第8号 | 市内インフルエンザ状況について |
| | 報告第9号 | 生徒・職員事故等について |
| H21.3.13(金) (定例会) | 報告第1号 | 少年育成センター活動報告について |
| | 報告第2号 | 「三豊市の文化財」冊子の販売単価について |
| | 報告第3号 | 文化財(市指定)の指定名称の変更について |
| | 報告第4号 | 三豊市議会報告 |
| | 報告第5号 | 三豊市教育委員会の事務事業の点検・評価委員会報告 |
| | 報告第6号 | 宗吉瓦窯記念イベントについて |
| | 報告第7号 | 社会教育団体連絡協議会について |
| | 報告第8号 | 同和对策就学・就園奨励資金について |
| | 報告第9号 | 学校清掃について |
| | 報告第10号 | 市内インフルエンザ状況について |
| | 報告第11号 | 生徒・職員事故等について |
| H21.3.18(水) (臨時会) | 報告第1号 | 三豊市議会報告 |

(3) 教育委員会活動の概要

① 保育所・幼稚園・小学校・中学校指導訪問

実施日程 平成20年5月16日～平成20年11月28日

参加者 教育委員5名、主任指導主事2名、指導主事1名、事務局2名

訪問先 保育所10所、幼稚園20園、小学校25校、中学校6校

訪問内容

- ・学校・幼稚園・保育所経営説明
- ・保育・授業参観
- ・給食指導
- ・個別指導
- ・全体指導
- ・諸帳簿検査
- ・講評

学校指導訪問日程 (学校の生徒数・クラス数・教員数に応じて、1日及び半日を決めています)

| 月 | 日 | 曜日 | 学校名 | 日程 | 教育委員 | 指導主事・事務局 |
|---|----|----|--------|----|----------------|-------------------|
| 5 | 16 | 金 | 桑山小学校 | 午前 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 20 | 火 | 大見小学校 | 午前 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事1名 事務局2名 |
| | 23 | 金 | 三野津中学校 | 午前 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 28 | 水 | 松崎小学校 | 午前 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 29 | 木 | 比地小学校 | 午前 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| 6 | 3 | 火 | 高瀬中学校 | 一日 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 5 | 木 | 大浜幼稚園 | 一日 | 武田委員 白杵教育長 | 指導主事1名 事務局1名 |
| | 6 | 金 | 吉津小学校 | 午後 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 10 | 火 | 仁尾小学校 | 一日 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 11 | 水 | 上高瀬小学校 | 午前 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 12 | 木 | 勝間小学校 | 午前 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |

| 月 | 日 | 曜日 | 学校名 | 日程 | 教育委員 | 指導主事・事務局 |
|----|----|--------|---------|---------------|-------------------|--------------------------|
| 6 | 16 | 月 | 豊中中学校 | 一日 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 17 | 火 | 神田幼稚園 | 一日 | 建林委員 白杵教育長 | 指導主事1名 事務局1名 |
| | 18 | 水 | 笠田小学校 | 午後 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 23 | 月 | 河内小学校 | 午前 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | | | 財田中小学校 | 午後 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 25 | 水 | 豊中幼稚園 | 一日 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名・事務局1名 |
| 27 | 金 | 二ノ宮小学校 | 午前 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 | |
| 7 | 1 | 火 | 山本保育所 | 一日 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名 |
| | 2 | 水 | 二ノ宮幼稚園 | 一日 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 3 | 木 | 詫間幼稚園 | 一日 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 8 | 火 | 下高瀬幼稚園 | 一日 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 10 | 木 | 吉津幼稚園 | 一日 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 11 | 金 | 河内幼稚園 | 一日 | 武田委員 白杵教育長 | 指導主事1名 事務局1名 |
| | 15 | 火 | 曾保幼稚園 | 一日 | 西村委員長 白杵教育長 | 指導主事1名 事務局1名 |
| | 23 | 水 | 高瀬中央保育所 | 一日 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名 |
| | 29 | 火 | 松崎保育所 | 一日 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名 |
| | 30 | 水 | 豊中保育所 | 一日 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名 |

| 月 | 日 | 曜日 | 学校名 | 日程 | 教育委員 | 指導主事・事務局 |
|----|----|----|---------|----|----------------|--------------------------|
| 8 | 26 | 火 | 財田保育所 | 一日 | 建林委員 臼杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名 |
| 9 | 10 | 水 | 詫間保育所 | 一日 | 武田委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名 |
| | 26 | 金 | 大野幼稚園 | 一日 | 小野委員 臼杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 29 | 月 | 勝間幼稚園 | 一日 | 小野委員 臼杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| 10 | 2 | 木 | 上高野小学校 | 午前 | 小野委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 3 | 金 | 本山小学校 | 午前 | 建林委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | | | 比地大小学校 | 午後 | 建林委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 8 | 水 | 須田保育所 | 一日 | 建林委員 臼杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名 |
| | 9 | 木 | 高瀬南部保育所 | 一日 | 建林委員 臼杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名 |
| | 10 | 金 | 麻小学校 | 午前 | 西村委員長 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 14 | 火 | 詫間小学校 | 一日 | 武田委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 15 | 水 | 大浜小学校 | 午前 | 小野委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | | | 箱浦小学校 | 午後 | 小野委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 17 | 金 | 大見幼稚園 | 一日 | 武田委員 臼杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 20 | 月 | 詫間中学校 | 一日 | 武田委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 21 | 火 | 松崎幼稚園 | 一日 | 武田委員 臼杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 23 | 木 | 和光中学校 | 午前 | 建林委員 臼杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |

| 月 | 日 | 曜日 | 学校名 | 日程 | 教育委員 | 指導主事・事務局 |
|----|----|----|--------|----|----------------|--------------------------|
| 10 | 28 | 火 | 三野保育所 | 一日 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名 |
| | 29 | 水 | 財田上小学 | 午前 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 30 | 木 | 箱浦幼稚園 | 一日 | 武田委員 白杵教育長 | 指導主事1名 事務局1名 |
| | 31 | 金 | 上高瀬幼稚園 | 一日 | 小野委員 白杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| 11 | 5 | 水 | 平石幼稚園 | 一日 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 6 | 木 | 大野小学校 | 午後 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 7 | 金 | 仁尾保育所 | 一日 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 指導主事1名 |
| | 12 | 水 | 辻小学校 | 午前 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 14 | 金 | 仁尾中学校 | 午前 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 18 | 火 | 比地二幼稚園 | 一日 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 19 | 水 | 神田小学校 | 午前 | 武田委員 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 21 | 金 | 財田幼稚園 | 一日 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 25 | 火 | 下高瀬小学校 | 午前 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | | | 曾保小学校 | 午後 | 西村委員長 白杵教育長 | 主任指導主事2名 事務局2名 |
| | 27 | 木 | 麻幼稚園 | 一日 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |
| | 28 | 金 | 辻幼稚園 | 一日 | 建林委員 白杵教育長 | 主任指導主事1名 指導主事1名・事務局1名 |

② 三豊市教育協議会

実施日程 平成20年12月18日(木) 14:30~16:45

参加者 市長・議長・教育民生常任委員長

三豊市教育委員5名、三豊市・観音寺市学校組合教育委員4名

教育委員会事務局 部長・課長等 10名

主任指導主事2名、指導主事1名

健康福祉部 部長・次長・課長 3名

小・中学校校長33名、幼稚園長20名、保育所長等11名

協議内容

- 保育所、小学校、中学校 代表所長・校長取組発表
- 県外視察研修報告
- 意見交換

(4) 教育委員会に関わるその他の主な活動(教育委員が出席した主な活動等)

| 月 | 各種行事・大会等 | |
|----|--|--|
| | 三豊市関係 | 国・県関係 |
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校教職員赴任式 ○幼稚園入園式、小・中学校入学式 ○保育所長・幼稚園長・小中学校長合同研修会 ○小中教頭会 | <ul style="list-style-type: none"> ○香川県市町教委委員長・教育長会議 ○西部地区教育長会 ○三観小中学校教育協議会 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> ○保育所長・幼稚園長・小中学校長合同研修会 ○子ども会育成連絡協議会 ○自治会長会 ○文化協会総会 | <ul style="list-style-type: none"> ○香川県市町教委連絡協議会総会 ○四国都市教育長連絡協議会 ○全国都市教育長協議会理事会・情報交換会 ○四国都市教育長協議会定期総会・研究大会(2日間) ○三観地区教育委員会連絡協議会春季総会 ○香川県市町教委連絡協議会教育長部会研究集会・委員研修会 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ○市議会6月定例会(本会議・一般質問) ○就学前教育・保育検討委員会 ○青少年健全育成市民会議総会 | <ul style="list-style-type: none"> ○三観教委租税教育推進協議会 |

| 月 | 各種行事・大会等 | |
|-----|--|---|
| | 三豊市関係 | 国・県関係 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校長研修会 ○小学校水泳記録会 ○就学前教育・保育検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○西部地区教育長会 ○三観小研校長研修会 ○キャリア教育実行委員会 ○香小研生活部会夏季研修会 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ○保育所長・幼稚園長・小中学校長合同研修会 ○就学前教育・保育検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○香川縣市町教委連絡協議会教育長部会運営委員会 ○香川縣市町教委連絡協議会理事会 ○第56回日本PTA全国研究大会 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ○市議会9月定例会（本会議・一般質問） ○幼稚園・小中学校運動会 ○就学前教育・保育検討委員会 | |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校長合同研修会 ○就学前教育・保育検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○香川縣市町教委連絡協議会教育長部会研究集会・委員研修会 ○西部地区教育長会 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ○就学前教育・保育検討委員会 ○市議会臨時議会 ○小中教頭研修会 ○文化講演会 | <ul style="list-style-type: none"> ○三観地区教育委員会連絡協議会秋季総会 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ○市議会12月定例会（本会議・一般質問） ○三豊市教育協議会 ○就学前教育・保育検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○西部地区教育長会 |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ○市成人式 ○就学前教育・保育検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○八市教育委員会連絡協議会 ○西部地区教育長会 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ○市議会臨時議会 ○保育所長・幼稚園長・小中学校長合同研修会 ○教頭会 ○事務事業点検・評価員会 | <ul style="list-style-type: none"> ○三観地区教育委員会連絡協議会視察研修 ○香川縣市町教委委員長・教育長会議 ○全国教育長会議香川大会理事会 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ○市議会3月定例会（本会議・一般質問） ○小中学校長研修会 ○幼稚園修了式・小中学校卒業式 ○小中学校教職員離任式 ○事務事業点検・評価員会 | |

3 具体的な推進施策の取組状況評価

(1) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本市教育の総合的な指針である「三豊市教育方針」に基づく平成20年度の重点課題の項目としています。

○ 評価項目の一覧

| | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 幼稚園の方針 |
| | ①信頼される幼稚園づくり |
| | ②幼稚園教育の充実 |
| | ③子育て支援の充実 |
| | ④子どもの成長を支える連携 |
| 2 | 小学校・中学校の方針 |
| | ①安心して学べる学校づくり |
| | ②確かな学力を育てる |
| | ③豊かな心と実践的な態度を育てる |
| | ④たくましい心身を育てる |
| | ⑤社会の変化に対応する力を育てる |
| 3 | 学校等施設耐震化の推進 |
| | 子どもたちが安全な施設で安心して学ぶことができる教育施設等の整備 |
| 4 | 生涯学習の方針 |
| | ①自ら学び、生きがいを創造する生涯学習の推進 |
| | ②特色ある地域文化の醸成 |
| | ③地域の教育力の向上、地域の教育機能の活性化 |
| | ④家庭の教育力の向上 |
| | ⑤進んで運動に親しむ機会の充実 |
| 5 | 青少年の健全育成 |
| | 青少年教育の充実 |
| 6 | 人権教育の推進 |
| | ①学校人権教育の推進 |
| | ②社会人権教育の推進 |

(2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、主管課において、重点課題に対して実施した事業ごとに点検・評価を行い、教育委員会は、各主管課の評価をもとに重点課題の項目ごとに評価を行いました。

また点検・評価にあたっては、教育に関し学識経験等を有する方のご協力を得て、点検・評価委員会を開催し、さまざまな意見や助言を得ました。

助言等をいただいた方は、次のとおりです。

(敬称略)

| 氏名 | 所属 |
|---------|-----------------|
| 山 神 眞 一 | 香川大学教育学部教授 |
| 中 田 清 | 元学校長 |
| 小 林 静 夫 | 公民館運営審議会会長 |
| 池 田 たか子 | 主任児童委員代表 |
| 芳 地 桂 子 | 三豊市P T A連絡協議会代表 |

(3) 点検・評価委員会開催日及び協議事項

| 開催日 | 参加者 | 協議事項 |
|-----------------|---|---|
| H21.2.5 (木) | 点検・評価員 教育長・教育部長 教育委員会事務局 関係各課長ほか | ・教育委員会の事務事業の点検・評価の概要について ・平成20年度三豊市教育方針について説明 |
| H21.3.5 (木) | 同上 | ・教育委員会の事務事業の点検・評価について |
| H21.5.29 (金) | 同上 | ・2・3月分修正された点検・評価の説明について ・点検・評価報告書の様式(案)について ・平成21年度教育方針(案)の説明について |
| H21.6.26 (金) | 同上 | ・点検・評価報告書(案)について ・平成21年度教育方針(案)について |

(4) 点検・評価結果の構成

①評価対象

「平成20年度三豊市教育方針」の6つの重点課題の項目ごとに点検・評価を行っています。

②具体的な取組内容及び実施した事業内容

各重点課題の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容等を示しています。

③○得られた成果 ●課題と今後の取組み

事業を実施したことによって得られた成果及び課題等を示しています。

④内部評価

計画目標に対し、取組みの進捗状況等をふまえ、外部の方々からのご意見を参考にしながら、客観的にA～Eの5段階評価を行いました。

(評価判断基準)

A・・・十分な成果を得た

B・・・ほぼ成果を得た

C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要

D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要

E・・・中止、廃止

⑤担当課等

事業を実施した担当課等の名称を示しています。

(5) 点検・評価結果

① 幼稚園の方針

基本方針：心身ともに健やかに成長するための教育の推進

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|---------------|--|---|------|-------|
| ① 信頼される幼稚園づくり | (1)特色ある幼稚園の経営 幼稚園教育要領を下に、子どもの発達や地域の実態に即した教育課程を編成し、それぞれの特色を活かした幼稚園の経営に取り組んだ。 ・ 教育課程の見直し、年間・月・週の計画をした。 ・ 目標申告・評価票の作成をした。 ・ 具体的に目標申告をし、総会等で保護者に説明した。 | ○子どもの発達や地域の実態を考慮し、年間計画を見直したことや目標申告や評価票を作成したことで、昨年度より具体的な手段や方法を示すことができ、取り組みやすかった。 ●園内研修等で園の方針について職員間の共通理解を図ったり、機会あるごとに保護者や関係者に説明し、園についての意見をいただいたりして、園経営に活かしていく。 | C | 学校教育課 |
| | (2)教師の資質向上 教師は、専門性を高めるために自己の課題に応じた研修を行い、自己評価や自己研鑽に取り組んだ。 ・ 学級経営案・自己評価票を作成したことで、目標をもち常に自分の保育を見直すことができた。 ・ 本年度は、「たのしく表現できるように」という課題をもち、多くの職員が自主研修に参加し、実技研修を受けた。 | ○幼稚園全体研修会で講師を招き、幼児教育の具体的な話を聴くことで、自分の保育を見直すようになってきた。また、自己評価により具体的な指導法や手だてがはっきりした。 ●職員の資質向上に繋がるように、外部からの講師を招いた研修の機会を増やしたり、評価の体制作りや結果を公表する方法を工夫していく。 | C | |
| | (3)園内研修の充実 多様な視点から子どもの内面を捉え、全職員で教育方針や内容などの研修に取り組んだ。 ・ 年度当初に教育方針や内容について全職員で研修をし、共通理解をした後、年齢毎に事例を出し合い研修を深めた。 ・ 子どもの発達をいろいろな分野(人・もの等)から捉えた視点表を基に、個に応じた内容を工夫した。 | ○年齢別研修会で、事例をもとに多面的な捉え方や援助の方法を研修したり、市の研究会で実践した視点表を自園の保育に取り入れて効果をあげている。 ●今後も継続して取り組み、幼稚園3年間の子どもの育ちを着実に捉え、小学校へ繋げていく。 | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|---------------|---|---|------|-------|
| ② 幼稚園教育の充実 | <p>(1)健康な心と体の育成</p> <p>体力の向上ややり遂げる力の育成を図るために、運動遊びや園外での活動を計画的に取り入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力調査の結果を基に、園外保育や戸外での集団遊びの充実に努めた。 ・ 「頑張りカード」等の具体的な教材を使い、目標を持たせているような遊びを経験させた。 | <p>○幼児の実態を把握したことで、発達や興味に沿った保育ができたり、目標を設定することで、それを意識して頑張る幼児が増えるなど、戸外で遊ぶ幼児が多くなった。</p> <p>●全員が目標を達成できるように、個に応じた援助や環境構成を工夫していく。</p> | B | 学校教育課 |
| | <p>(2)人と関わる力の育成</p> <p>発達段階に応じた集団生活の充実に図るために、同年齢や異年齢の交流、また、園外の人との交流に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全園児を異年齢グループに分け、「ふれあい遊び」等を計画的に行った。 ・ 相手を思いやる気持ちを育てるために、保育所・小・中学校、高齢者・外国人等との交流を行った。 | <p>○園内のグループ活動や園外のいろいろな人との関わりを通して、年長児は年少児に思いやりをもったり、相手の思いに気付いたりするようになってきている。</p> <p>●園内では「友だちっていいな」と感じる同年齢や異年齢のふれあいの場を、園外ではいろいろな人との交流の場を多く取り入れていく。</p> | B | |
| | <p>(3)豊かな心の育成</p> <p>集団生活の中で互いが気持ちよく暮らしていくために、遊びや生活の中できまりを教えたり、我慢する経験をさせたりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの中でトラブルを捉えて、相手の気持ちに気付くような援助をした。 ・ 園外保育で、地域の自然や行事等に多く出かけた。 | <p>○遊びの中でトラブルを経験し、我慢する気持ちやルールを守る大切さに気づいたりしている。また、地域に出かけることで、人や自然と触れ合うことを楽しむようになってきた。</p> <p>●葛藤や失敗の経験ができる遊びを工夫したり、年間を通して計画的に地域に出かけたりする。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-----------|--|--|------|-------|
| ②幼稚園教育の充実 | <p>(4)創造する力の育成</p> <p>考えたり工夫したりする力を育てたり、探求心を高めるために、保育教材を選んだり、自然体験を取り入れたりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごっこ遊びをしたり可塑性に富んだ教材を使ったりした。 ・ 栽培、収穫、調理の経験ができる食育に取り組んだ。 | <p>○教材を精選したことで、幼児がじっくりと取り組んだりイメージを広げたりできている。食育活動を通しては、気付きや発見が多くあり、探求心が高まってきた。</p> <p>●今後は、幼児を素材や環境に効果的に出会わせる工夫をしたり、計画的に体験活動を実施したりする。</p> | C | 学校教育課 |
| | <p>(5)個に応じた教育の推進</p> <p>一人一人の子どもの発達を知り、保育内容を工夫すると共に、チーム保育の体制を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の内面や発達を知るために、行動記録をつけた。 ・ 全園活動を取り入れることで、担任以外との関わりを多くもつようにした。 | <p>○一人一人の幼児の発達段階を知るために個人記録をつけたり、それを全職員が共通理解することで、自分のクラス以外の幼児も指導する体制ができつつある。</p> <p>●日々の記録を保育に活かす工夫をしたり、全職員が保育する、全園活動の内容や方法を見直す。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|---------------|---|---|------|-------|
| ③ 子育て支援の充実 | <p>(1)幼児教育センター機能の充実</p> <p>日々の保育・教育の中で、保護者に対して家庭の役割を知らせたり、子育て相談等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 園だより、クラスだより、送迎時の話し合い等を通して、家庭の役割の大切さを知らせていった。 園庭の開放を実施することで、保護者同士の交流を図った。 | <p>○幼稚園の取組を知らせることで、基本的な生活習慣の大切さを保護者に理解してもらえたり、園庭を開放したことで、保護者間の交流もでき始めている。</p> <p>●園からのお知らせや園庭開放が、幼稚園からの一方的なものや、一部の保護者だけにならないように、内容や時間等の検討が必要である。</p> | C | 学校教育課 |
| | <p>(2)子育てのための家庭環境づくり</p> <p>子育て専門機関との連携を図り、様々な方向から子育ての情報を提供していった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援の必要な幼児については、保護者に専門機関の情報を知らせたり、話し合う場をもったりした。 保護者が子どもとかかわる楽しさや方法を学べるように、講演会や親子ふれあい遊びを実施した。 | <p>○子育てに不安をもっている保護者は、専門家にその気持ちを受け止めてもらい、指導を受けることで不安が軽減できている。また、休日にはできるだけ子どもと過ごしたいという保護者が増えてきている。</p> <p>●様々な機関の情報を保護者に提供したり、行事に参加しない保護者への呼びかけ方を考えていく。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------------|--|--|------|-------|
| ④ 子どもの成長を支える連携 | <p>(1)家庭や地域社会との連携</p> <p>保育参加や講演会などを通して、就学前の教育の大切さを発信したり、地域への行事に積極的に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て講演会やクラス懇談会等を通して、情報の提供や発信を行ってきた。 ・ 園の行事に地域の方の力を活用し、園だけではできない遊びに取り組んだ。 | <p>○講演会や懇談会で、いろいろな人の意見を聞き、保護者が自分の子育てを振り返る機会となったり、地域の人との交流を通して、普段の保育では味わえない感動体験ができている。</p> <p>●参加しない保護者が参加したいと思う会にすることや、地域の方から教えていただいたことを保育に取り入れていくための方法を考える。</p> | C | 学校教育課 |
| | <p>(2)保育所や小学校との連携</p> <p>就学前教育が小学校以降へつながることを考え、幼稚園と保育所と小学校との交流を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所と幼稚園、小学校の幼児児童の交流だけでなく職員の間での合同研修会をもった。 | <p>○異校種間の交流を行うことで、お互いの教育内容を知ることができ、職員間の信頼関係ができてきている。</p> <p>●引き続き連携を取り、子どもたちの交流や職員の合同研修の機会をもつ。</p> | C | |
| | <p>(3)子育て関係機関との連携</p> <p>子育ての支援活動として、必要に応じて保護者に子育て関係機関の機能や役割を知らせた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就学指導やことばの教室等の専門機関を利用した。 | <p>○専門機関と連携し、幼児の内面理解や接し方、関わり方の具体的な指導を受け、職員も保護者も参考になった。</p> <p>●専門機関への相談をためらう保護者が多いので、相談しやすい雰囲気づくりをしていく。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

② 小学校・中学校の方針

基本方針：「三豊市の誇り」と「生きる力」を身につける教育の推進

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|---------------------------|---|--|------|-------|
| ① 安心して 学べる 学校づくり | (1)開かれた学校 保護者や地域住民等の学校教育への理解と協力を得るために、教育活動の状況を計画的・継続的に情報提供したり、学校施設の開放と活用を積極的に行う。 ・ 学校だより、校長だより、学級だより、保健だより、給食だより、ホームページ等により保護者や地域の方に情報提示を行った。 | ○保護者や地域への情報提供ができた事により、多くの保護者や地域の方からの理解と協力が得られた。 ●今後も学校の教育活動を積極的に公開したり、情報提供を継続的に行ったりして、学校への理解や支援をさらに求めていく。 | B | 学校教育課 |
| | (2)安全・安心な学校 交通事故や学校内外での事故等を防止するために、安全学習や安全指導の年間指導計画を作成するとともに、日常指導や避難訓練・防災教育を計画的・継続的に行う。 ・ 避難訓練、交通安全教室、防犯教室を計画的に実施した。また、危機管理マニュアルを作成し、職員全員で共通理解を図った。 | ○安全マップを作成することで、児童の安全に対する意識はもろろん、家庭でも危険箇所に対する意識が高まった。 ●日常の指導を継続的に行い、児童の危険回避能力をさらに高めていく。 | B | |
| | (3)信頼される教師 教師の使命と責任を自覚し、尊敬され信頼されるために、常に研究と修養に努める。 ・ 校内研修を各校の実情に合わせて実施したり、各種研修会に参加したりするなど、積極的に研究と修養に努めた。 | ○新指導要領の主旨の理解を深め、新しい指導法などの情報を得ることができた。それにより、自己の見直しと改革が進んだ。 ●課題解決のための、研修意欲の高まりの個人差に課題がある。経験主義に陥りやすい面もあるので、より個々の課題に即した研修に取り組む。 | B | |
| | (4)特色ある学校 一人一人の児童生徒の実態を把握し、育てる力を明確にした創意工夫ある教育課程を編成する。 ・ 児童の実態を的確に把握し、教育目標の実現に向けて教育課程を工夫している。 | ○朝の読書タイムや放課後教室での個別指導を行い、基礎学力の定着が進められた。 ●新学習指導要領の移行期にあたり、指導要領の改定意図を踏まえた上で、新年度の教育課程の編成を行い実施する。 | B | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|----------------|---|---|------|-------|
| ② 確かな学力を育てる | <p>(1)基礎・基本を定着させる教科学習 学習状況調査や校内検定等の分析を通して、指導方法の改善に努め、分かる授業を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県学習状況調査や全国学力・学習状況調査などを校内で分析し、指導改善を全教職員で共通理解し進めた。 | <p>○児童が主体的・意欲的に取り組めるように、教材研究や板書の方法、学びあい、高めあう交流の場など、確かな学力を育てる授業づくりを行うことができた。</p> <p>●分かる授業を確立するため、更なる板書の工夫や学びあいのさせ方を研修していく。</p> <p>●学級の傾向としてつかんだ内容は、指導に取り込み活かせたが、個々に目を向けた指導にまでは至っていない。今後は個々にあった指導を考え、個別の指導をしていく。</p> | B | 学校教育課 |
| | <p>(2)学ぶ基礎を培う学習習慣づくり 学習習慣が定着するように、朝の時間帯にドリルタイムや読書タイム等を設定するなど、日課等の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝のドリルタイム・放課後のドリルタイムや読書タイムを計画的に実施した。 「家庭学習の手引き」を作成し、配布することにより、家庭学習を習慣化することの大切さについて啓発した。 | <p>○毎日の日課に組み込むことで、集中してドリル学習に取り組み、基礎基本定着度テスト、読書目標等の達成率が向上している。</p> <p>●家庭環境および生活様式が個々に異なり、自主学習の内容に差が出ている。家庭学習のしおり等を工夫し、児童生徒の力で自学できる支援をしていく。</p> | B | |
| | <p>(3)国語力・読解力の育成 国語科を中心に全教育活動を通して言語に対する関心や理解を深めるとともに、言語活動を適切に行えるように継続的指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日記、短作文等を日常的に指導し、言語能力の向上のための指導を行った。 学年ごとに必読図書を選定し、親子読書(23が60運動)とともに進めてきた。読書目標の達成者を表彰し意欲を高めてきた。 | <p>○繰り返し書くことにより、書くことに対する抵抗が少なくなった。</p> <p>●継続することで力がついてきたが、マンネリ化しないように、遊び的な内容も取り入れつつ、考え方や表現力が身につく、より効果的なドリル学習を模索していく。</p> <p>●9割程度の児童生徒が読書目標を達成できているが、目標に向けて意欲的に取り組みにくい一部の児童生徒への手立てを考える。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|----------------|---|--|------|-------|
| ② 確かな学力を育てる | <p>(4)個を大切にす特別支援教育</p> <p>一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすために、障害の種類や程度に応じた教育課程編成を行うとともに、学習環境の整備や指導方法の改善を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者、幼稚園の教師、養護学校の指導者等との情報交換、指導をうけて、児童の特性を観察し、適切と思われる訓練方法を考察し、用具の整備、活動の工夫・支援を行った。 | <p>○個に応じた指導ができ、学習内容の定着が見られた。</p> <p>●個々に対応するためには、更なる情報の共有が必要である。時間的な制約はあるが、校内委員会等の回数をできるだけ増やす。</p> | B | 学校教育課 |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------------|--|--|------|-------|
| ③豊かな心と実践的な態度を育てる | (1)自己指導力を培う生徒指導 豊かな人間性の育成や基本的な生活習慣の形成、望ましい倫理観、社会規範意識を育成するために、指導の一貫性や継続性に配慮しながら、個に即した適切な支援を行う。 ・ 児童会や生徒会からの働きかけを支えながら、基本的な生活習慣や学校の伝統作りを実践した。 | ○今までのきまりや習慣化された内容の見直しをする機会を持ち、共通な指導ができるようになった。特にあいさつは、市内全小中学校で成果を挙げた。 ●黙って取り組む清掃や清掃ボランティアなど、学校の伝統を作りつつある学校がある。継続することでよい伝統を確立していく。 | C | 学校教育課 |
| | (2)人権尊重社会の実現に向けた人権教育 人権についての正しい理解や認識、人権を尊重する意欲・態度を育成するために、人権教育年間指導計画を作成するとともに、計画的・継続的に授業実践を行う。 ・ 人権教育年間指導計画を作成し、校内研修の一環として扱ったりしながら、継続的に授業実践を行った。 | ○校内研修で人権教育教材集を活用し、人権同和の観点から教材分析や授業実践を行うことで、児童への指導力が高まった。 ●仲間はずれやいじめなどはいつ、どこで起こるかわからない。常日頃より、教師自身の人権感覚を磨き、差別事象を見逃さず、タイムリーな指導に心がけていく。 | B | |
| | (3)豊かな心を培う道徳教育 教材の開発、指導過程や教師の支援の在り方を見直すなど、指導方法を工夫する。 ・ 心のノート、地域の行事を考慮した年間計画を作成し、地域・学校に誇りを持ち、自尊感情を醸成するように配慮して指導実践を行った。 | ○道徳の日の取り組みを各校で実践し、家庭との連携を図ることができた。 ●保護者と価値観を共有し、児童の指導効果を高めてきたが、自尊感情の育成にはまだまだ課題があり、さらなる方策を模索していく。 | B | |
| | (4)学び方や問題を解決する力を身に付ける総合的な学習の時間 児童生徒が主体的に学習活動を展開できるように、各教科等との関連を図り、地域の多様な教育資源を積極的に活用する。 ・ 学習や生活面での児童の実態から、日課や年間行事を見直し、児童の基礎学力や生きる力が育つ教育課程の工夫を行った。 | ○地域の方の知恵や技術にふれ、文化や伝統のよさに気づくことができた。また、学んだことをまとめたり地域や保護者の方に発表したりすることもできた。 ●新学習指導要領のねらいをふまえて、問題解決能力育成のための、教育課程の工夫をしていく。 | B | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------------|---|---|------|-------|
| ③豊かな心と実践的な態度を育てる | <p>(5)自主的・実践的な態度を培う特別活動</p> <p>児童生徒の自主的・実践的な活動が最大限に実施できるように、児童生徒の実態や今日的課題から内容の精選と重点化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童会や生徒会を中心に、委員会活動、係活動の活性化を図り、学校行事やボランティア活動の活性化を行った。 | <p>○児童生徒の活動が活性化し、役員を中心に全校生への働きかけや、イベント等の実施も見られた。</p> <p>●児童生徒に地域の文化や伝統、環境、福祉に積極的に関わることができるよう、これからも地域人材の活用を継続する。</p> | C | 学校教育課 |
| | <p>(6)将来の自分を考える進路指導・キャリア教育</p> <p>望ましい職業観や勤労観、適切な進路選択力を育成するために、児童生徒の発達段階に応じて、職場訪問や職場体験学習などの体験的な活動を取り入れたキャリア教育の推進に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全中学校の2年生で職場体験学習を行った。事前事後において自己の興味関心や働くことの意義などの学習を行い、望ましい職業観の育成に努めた。 | <p>○長期にわたり学校を離れて学習することで、生徒は職業に関する理解が体験として習得できた。</p> <p>●小学校では特に、職場体験や見学できる分野が限られているため、他の分野への訪問も検討していく。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------------|---|---|------|-------|
| ④ たくましい心身を育てる | <p>(1)豊かなスポーツライフの基礎を形成する学校体育 運動の楽しさや喜びを味わいながら自ら課題を発見したり、仲間との交流を通して解決したりできるように、個に応じた体育学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科体育学習の中で、個に応じた課題を持たせた学習の実践。水泳、陸上、縄跳び、持久走では個別にカードを持たせて、達成目標を明確にして実践した。 「部活動に全員参加」を原則に、全職員で指導にあたった。 | <p>○運動に関する個々に努力目標ができたため、意欲化が図れた。</p> <p>●各教材ごとの特性を洗い出し、運動が苦手な児童生徒にもより楽しい学習の成立を図れる工夫をする。</p> <p>●生徒数や教員数の減少があり、一部の学校は、部活動の統廃合の検討をする。</p> | B | 学校教育課 |
| | <p>(2)健康に関する実践力を育む学校保健 児童生徒の実態に合った健康に関する年間指導計画を作成するとともに、教育活動全体を通して指導の継続と工夫を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活リズムの確立や心の健康の向上を重視した年間計画を立て取り組んだ。 新体力テストの結果、対外的行事の成績、校内行事の成果、健康診断、欠席状況、生活状況調査等のデータを分析し、目標設定に反映させた。 | <p>○実態調査をもとに、個別指導にも力を入れた学校が多かったもので、ある程度の成果があった。</p> <p>●家庭状況により、生活状況の改善がどうしても図れない家庭に対して、どのような、どんな働きかけが有効か研修を深め、実践する。</p> | B | |
| | <p>(3)望ましい食習慣を形成する学校給食 給食の時間を中心に教科等と関連付けるなど、教育活動全体を通じた食に関する年間指導計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食のメニューを生きた教材として指導を継続している。また、体験活動を重視し、農業体験や野菜作り、調理実習等を取り入れた。 毎月給食便りを発行し、家庭との連携に努めた。 | <p>○継続指導が大切である。学年ごとの指導内容を積み上げていることでまとまった成果が出ている。</p> <p>●保護者との連携はある程度取れるようになったが、朝食を食べる児童生徒の割合をさらに増やすことや、質を高めるために、家庭や地域との連携をさらに深める。</p> | B | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|----------------------|---|---|------|-------|
| ⑤ 社会の変化に対応する力を育てる | <p>(1)科学技術の進歩に対応する理数教育</p> <p>「発見する喜び」や「創る楽しさ」が体験できるように、問題解決的学習や体験的活動を積極的に取り入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業や実験を重視した体験的・問題解決的な学習を導入した。 | <p>○児童の興味関心を引き出すことができ、それぞれの活動の中で、個性を發揮し活躍する児童生徒が出てきた。</p> <p>●直接体験や観察・実験には時間がかかる。授業時間確保のためにも、重点単元を設定し、指導時間の確保と内容の充実を図っていく。</p> | C | 学校教育課 |
| | <p>(2)高度情報化に対応する情報教育</p> <p>個人情報や著作権の保護、有害情報対策等、情報モラルやマナーに関する指導の充実を図るとともに、家庭との連携を積極的に図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内研修で該当資料を活用した研修を行い、教職員の共通理解と指導方法について話し合った。 | <p>○情報についてのモラルやマナーの向上を図ることができた。</p> <p>●学年の発達段階に応じた段階的な指導について、研修の充実を図っていく。</p> <p>●ハード面の整備とともに、教師の更なるスキルアップをしていく。</p> | C | |
| | <p>(3)自然との共存に対応する環境教育</p> <p>地域、社会施設、関係機関等と連携を図りながら、学校教育全体を通して進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境を活用した環境教育に取り組んだり、全校生で地域でのボランティア清掃に取り組んだ。 | <p>○環境問題に目を向けた取組が全校的に広がり、児童の意識が少しずつ育ち始めてきた。</p> <p>●自然体験や社会体験をするための時間確保をしていく。</p> | C | |
| | <p>(4)国際化に対応する国際理解教育・外国語教育</p> <p>地域在住の外国人や豊富な経験を有する地域人材、様々な国の国際交流員等を活用した教育活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校では、カードやCDなどの用意ができ、児童が操作しながら楽しく英語活動に参加できるようする。 中学校英語科の授業の中で、ALTとともに会話の学習が楽しくできるよう工夫する。 | <p>○小学校児童が、ALTの方と会話をするのにあまり抵抗なく、楽しくできるようになっている。</p> <p>○中学校では、休み時間や放課後にも、ALTに話しかける生徒の様子が多々見られるようになった。</p> <p>●ノートの活用や音声教具の活用、ALTや英語指導員の指導のあり方を研修して、効率よい学習ができるようにする。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

③ 学校等施設耐震化の推進

基本方針：子どもたちが安全な施設で安心して学ぶことができる教育施設等の整備

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------------------------------|---|--|------|-------|
| ① 子どもたちが安全な施設で安心して学ぶことができる教育施設等の整備 | <p>(1)子どもたちが安全な施設で安心して学ぶことができる教育施設等の整備</p> <p>耐震性を有しない園舎、校舎、体育館の耐震補強工事等の耐震化を優先的に実施し、子どもたちが安全な学校施設で安心して学ぶことができる教育施設の整備をする。</p> <p>耐震化整備計画 ○平成21年度 小・中学校校舎、体育館の耐震診断 完了 ○平成27年度 幼・小・中学校校舎、体育館の耐震化工事 完了</p> <p>昭和56年以前に旧耐震基準で建築された小学校2校の校舎、幼稚園6園の耐震診断と小学校1校の屋内運動場の補強工事実施設計を実施した。 また、小学校2校の校舎、中学校1校の校舎の耐震補強工事を実施した。</p> | <p>○本年度は、計画していた耐震診断、補強工事実施設計、補強工事は計画どおり実施しており、補強工事を完了した建物は耐震化が図れた。</p> <p>●学校施設の耐震診断を行っており、診断結果に基づいて、次年度の補強計画の見直しを行ない、順次耐震化を図っていく。 平成21年度には全ての学校施設の耐震診断が完了する。</p> | A | 教育総務課 |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
 D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

④ 生涯学習の方針

基本方針：人と地域がふれあい、人と文化を育てるまちづくり

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------------------------|---|--|------|-------|
| <p>① 自ら学び、生きがい創造する生涯学習の推進</p> | <p>(1)学習機会の提供(地区公民館活動の充実)</p> <p>① 公民館活動は、知的、文化的、総合的な活動を通じて潤いと生きがいのある活動が求められており、そのニーズに応じて文化活動を中心とした生涯学習活動の場として、仲間や生きがいづくり活動、また、地域社会への技術や知識の還元の場として、すべての旧町単位の地区公民館長を配置、情報の提供、指導者の発掘及び調査研究の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7町の各地区公民館に館長、主事を配し、高齢者、少年、女性等を対象とした講座、また地域で特色ある活動を行った。 (救命救急講習、ふれあい理科講座、パソコン教室等) ・高齢者対象……………130回 ・子ども対象……………117回 ・女性対象……………71回 <p>また、地域の社会教育に資するため、指導者の発掘を目的として、三豊市生涯学習人材バンクを整備し、19分野において90名の指導者登録を行った。</p> <p>② 地域の各種団体と連携し、共同の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会と連携し、11月に三豊市文化講演会を開催した。 <p>③ 分館活動については、地域の特色を生かした地域活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分館活動においては、分館長、主事を中心として地域に根ざした活動を展開した。また町単位でバラツキのあった事業費の基準を明確にし、次年度予算に向けて、平準化を行った。 | <p>○町ごとにバラツキのあった公民館講座等、市民に活動の場を提供する機会の増と、「人材バンク」の整備により、講師の選定が容易になり、学習分野の選択肢も広がった。三豊市文化講演会には、700名を超える来場者があり、市民に文化教養的学習の場を提供できた。</p> <p>○分館活動によって、地域の中での学習、連携、世代間交流等特色を生かした活動により、地域の活性化に貢献できた。また、次年度の分館活動において、ある程度、事業費の不均衡が解消した。</p> <p>●今後は、地区公民館によって、事業の対象とする世代等のウエイトが異なるためどのように均一化を図るか、また定例的講座(高齢者、子ども、女性)を除く独自の講座について、公民館によって、若干、活動量に差があるため、活動の少ない館の活動をどのように促進するか、活動を通して地域指導者の人材の発掘をいかに行っていくか、検討する。</p> <p>地域の各種団体との共同事業に関しては、教育関係でも同じような講演があるため、バラバラに行わず、複数課で協力して行う方向も検討する。分館活動については、地域の活性化に資するため、今後も活動を継続していく。</p> | B | 生涯学習課 |

※内部評価欄：A…十分な成果を得た B…ほぼ成果を得た C…ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D…満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E…中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------------------|--|---|------|-------|
| ① 自ら学び、生きがいを創造する生涯学習の推進 | <p>(2)文化協会、体育協会等社会教育団体への自立支援</p> <p>① 市の方針を外部団体に粘り強く説明し、理解・協力が得られるよう努める。</p> <p>② 団体主催事業の都度、自分たちが事業主体であることを認識・活動してもらえよう支援する。</p> <p>③ 社会教育団体連絡協議会を組織し、事務局の統合化を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市体育協会・市文化協会・市文化財保護協会等の社会教育団体の自主・自立支援協議を行った。 | <p>○市社会教育団体連絡協議会設立に向けた協議が整った。</p> <p>●今後は独立した連絡協議会事務所を設置、早期に事務を含めた自主・自立の実現に向けて支援を行っていく。</p> | B | 生涯学習課 |
| | <p>(3)図書館利用の拡大</p> <p>① 市内7図書館（室）をネットワークで繋げ、蔵書検索及び予約申込等の機能を広く市民に周知するとともにその有効活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内図書館のネットワーク化に伴い、いずれの図書館でも資料の貸出・返却・予約等が可能であることを、広く市民に周知するとともに、その有効活用を図った。 <p>② 地域の生涯学習や文化活動の拠点として、図書館ボランティアによる「おはなし会」、「おたのしみ会」、「ビデオの上映会」等読書に親しむ活動を積極的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内7図書館（室）において、ボランティア等による「おはなし会」等を開催した。また、市内各図書館で特色ある子ども向け行事を開催するなど、読書に親しむ活動を積極的に行った。 <p>③ 市ホームページ及び市広報誌等を通して、市民への図書館情報を積極的に提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ及び市広報誌等を通して、市民への図書館情報を提供した。 | <p>○市内図書館のネットワーク化等、図書館サービスについて広く市民に周知するとともに、その有効活用を図ったことにより、図書館サービスの向上に繋がった。</p> <p>○ボランティア等による「おはなし会」等の開催により、子どもたちが読書に親しむ機会が増え、子どもの読書活動の推進に繋がった。</p> <p>○市ホームページ及び市広報誌等を通して、行事等の図書館情報の提供ができた。</p> <p>●市内図書館のネットワーク化について、今後は更にその利便性について周知に努め、図書館サービスの一層の向上に努める。</p> <p>●ボランティア活動に関しては、ボランティア等の協力を得て、「おはなし会」等各種子ども向け行事を開催するなど、更に読書に親しむ機会の提供に積極的に取り組む。</p> <p>●図書館情報の提供に関しては、市ホームページ及び市広報誌等を通して市民へ図書館情報を提供する。</p> | | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------------|--|---|------|-------|
| ② 特色ある地域文化の醸成 | <p>(1)文化財の保存と活用</p> <p>① 文化財の状況を適時把握し、史跡・名勝など歴史的・文化的景観を構成する資源においては、周辺の自然環境と一体となった保全と活用に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宗吉瓦窯跡史跡公園の整備工事と史跡報告書の作成。 ・ 菅生神社社叢の再生事業（継続事業）。 <p>② 文化財保護審議会・文化財保護協会等の団体をはじめとする市民と協力して、文化財の保護と情報発信の体制づくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平城遷都1300年祭」連携事業 宗吉瓦窯跡整備記念シンポジウムおよび宗吉瓦窯跡史跡公園整備事業講演会（計4回）の開催。 <p>③ 三豊の文化財誌を作成し、文化財を巡る研修や郷土文化講演会を実施するなど、意識啓発を行うとともに文化財に触れる機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「三豊市の文化財」冊子の発行。 <p>④ 宗吉瓦窯跡史跡公園（仮称）オープンに備え史跡ボランティアの養成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民有志によるボランティア団体「宗吉瓦窯会」の発足・活動支援。 | <p>○整備工事と史跡報告書の作成を完了し、平成21年5月10日にオープンする予定。また、三豊市宗吉かわらの里展示館及び三豊市宗吉瓦窯跡史跡公園関係例規の整備を行う。</p> <p>○菅生神社社叢再生事業に関しては、地元の協力を得ながら、再生に向けて着実に進捗している。</p> <p>○文化財保護と情報発信の体制づくり、文化財に触れる機会に関しては、史跡宗吉瓦窯跡に関する住民の興味・関心が深まったことにより、文化財に対する意識向上・活動促進に繋がり、市民の意識向上に繋がった。</p> <p>○ボランティア養成については、住民が管理運営に携わることで、公園に親しみを感じるとともに、文化財保護に対する意識の向上に繋がった。また、ボランティアガイド養成講座により、宗吉瓦窯跡に関する知識が向上した。</p> <p>●今後は宗吉瓦窯跡史跡公園の完成後の管理運営方法が最大の課題となる。地元ボランティア団体を活用するなど、住民主体となった効率的な管理運営組織の育成を推進する。また、来場者を対象とした焼き物教室などの体験講座を設け、市民が親しむことのできる公園運営を目指す。</p> <p>●菅生神社については、再生に向けての具体的な計画立案が必要である。地域特有の種も存在するため、損なうことのないよう配慮する必要がある。</p> <p>●文化財保護と情報発信の体制づくり、文化財に触れる機会に関しては、ボランティア団体等と協力し、市民の意識向上のために講演会等のイベントを開催し、『三豊市の文化財』冊子販売の促進、『文化財マップ』を作成、それを持って各々が文化財巡りができるようにするなど、更なる機会創出に努める。</p> <p>●史跡ボランティア養成に関しては、完成後の宗吉瓦窯跡史跡公園の管理運営について、ボランティア団体「宗吉瓦窯会」など市民と協力して、住民主体による効率的な管理運営組織の育成を推進する。</p> | B | 生涯学習課 |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------------|--|--|------|-------|
| ② 特色ある地域文化の醸成 | <p>(2) 芸術・文化の醸成</p> <p>① 市文化協会を主体として文化祭等の成果を発表する場を設けることで、目標を持ち個人だけではなく団体としての資質の向上を図る。</p> <p>② 市内で活動している団体間の交流を深め、仲間づくりを行うことでより幅の広い文化活動の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度から三豊市文化協会文化祭作品展覧会・芸能発表会の日時と場所を変えて実施。 | <p>○作品展覧会・芸能発表会の開催日時を分けることで、それぞれの実行委員会が自分たちの活動に集中でき、しっかりとした協議ができるようになった。結果、準備、当日など混乱なくスムーズに事業が行なえた。</p> <p>●今後は作品展覧会・芸能発表会の開催日時を分けることで、場所・時間など、より周知する必要がある。</p> | C | 生涯学習課 |
| | <p>(3) 芸術・文化行事などの情報提供</p> <p>① 県との連携を図り、市内学校・施設に対し、文化事業の案内、参加を促す。</p> <p>② 市文化協会活動事業を市広報で案内する等、広く文化団体の活動を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三豊市広報にて、町・文化祭の案内を掲載。 <p>③ 市文化協会報を作成するなど、団体内での情報提供の場をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三豊市文化協会報の発刊について協議。 | <p>○広報誌にて情報提供することにより、町・市とも文化祭を盛況に行うことができた。また、町レベルから市レベルへと市民の目線が変化してきた。三豊市文化協会報の発刊については協議途中である。</p> <p>●情報提供については、市文化協会報の発刊に向けて、内容協議するとともに、広く市民に活動状況を知らせる。（広報力・企画内容の検討を行う）三豊市文化協会報の発刊については、協議途中ではあるが、支部間の連携の強化をさらに進める必要がある。</p> | C | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------------------|---|--|------|-------|
| ③地域の教育力の向上、地域の教育機能の活性化 | <p>(1)子どもを育てる地域づくり</p> <p>地区公民館を中心として、世代間交流事業を展開して、地域の歴史・地域の良さを学習することにより、世代間相互で「ありがとう」の感謝の気持ちを培う地域づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区公民館及び分館等の組織を中心として、地域の有志や老人会、公民館等と協力・連携して学校週5日制対応事業等の児童を対象とした事業を実施した。 | <p>○地域で子どもを育てるための組織づくり、協力体制の確立、関係者の相互理解を図ることができた。</p> <p>●今後は事業の継続実施、更なる協力団体・スタッフの拡充と協力体制の充実を図る。</p> | C | 生涯学習課 |
| | <p>(2)地域で子どもを育てる指導者養成事業の推進</p> <p>学校を支援している地域住民や保護者が、教育改革の理念である「生涯学習」を理解し、子どもの育成のために、学校の教育活動や学校運営によりよく参画する態度の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会、PTA、青少年健全育成市民会議等の各団体で連携を取り、研修会・講演会を実施した。 | <p>○地域の指導者の育成、人材確保が行えた。また各事業に参加された方は「生涯学習」や「子育て」、「学校教育」等に関する理解を深めることができた。</p> <p>●今後は指導者養成の講座内容、機会の充実を図り、人材の育成・確保を図る。</p> | C | |
| | <p>(3)子ども会の育成と支援</p> <p>① 自然体験やスポーツ等の様々な体験活動を通じて地域との交流や仲間づくりを行い、豊かな情操教育、子どもたちの主体的な活動支援を図るため、指導者・育成者に対する研修を通じて、子ども会活動の基本理念の浸透、資質の向上を図り、地域の指導者の確保と積極的な活用に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域で子どもとその保護者を対象に11事業と3つの研修会を実施。 <p>② 子ども会を支援するジュニア・リーダーの養成・確保に努め、リーダーとしての資質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 備品貸出やジュニアリーダーの派遣事業等を実施し、単位子ども会の活動や地域行事への参加・支援を行う。 | <p>○子ども会の各事業に参加した児童は地域間や異年齢間での交流、野外体験等の学校では学べない貴重な機会・経験を積むことができた。</p> <p>○子ども会を支援するジュニアリーダーの養成・確保に努め、リーダーとしての資質の向上を図るとともにジュニア・リーダーの派遣事業を通じて地域の子どもの活性化を図ることができた。</p> <p>●今後は組織の効率化、自主運営化、子どもたちの幅広いニーズに答えることができるよう事業内容の見直し、改善を図る。</p> <p>●子ども会を支援するジュニア・リーダーの養成と拡充を図る。また、幅広いニーズに答えることができるよう派遣事業の実施継続、並びに主催事業の内容の見直し、改善を図る。</p> | B | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------|---|--|------|-------|
| ④家庭の教育力の向上 | <p>(1)家庭教育支援・啓発活動</p> <p>① 少子化、核家族化、地域交流の機会が減少する中で、子どもの接し方がわからない、育児に不安を持つ保護者が増える一方、子どもに無関心、過保護者も増えてきており、市内幼稚園、小学校、中学校と連携して講演会等ふれあい事業を実施して、家庭教育の意識の向上と重要性を認識してもらうとともに、家庭における教育力の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育学級の実施。 <p>② 保護者と子どもと一緒に楽しみ、ふれあい、子どもたちに新たな一面を発見できるような機会や場の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育学級の実施。 | <p>○15幼稚園・8小学校・2中学校が家庭教育学級を実施した。それぞれが外部講師を招いて家庭教育の重要性を伝える講演や子育てに関する講演等を行った。その学級の中で親子で作業を行う活動や運動等を取り入れ、保護者と子どもがふれあうことができる活動の場を提供した。</p> <p>●今後は家庭教育学級を継続して実施するとともに、実施園、学校を増やし、家庭教育の大切さを促す啓発活動を更に推進する。</p> | B | 生涯学習課 |
| | <p>(2)子どもの生活リズム向上</p> <p>① 毎月23日をテレビを見ない「ノーテレビデー」と定め家族団欒や読書などの機会を増やせるよう推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノーテレビデーの実施。 <p>② 「早寝早起き朝ごはん」運動を推進し、子どもの望ましい基本的な生活習慣を育成するとともに、生活リズムを向上させ、読書や外遊び・スポーツなど様々な活動に生き生きと取り組んでもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活リズム向上全国フォーラムへの参加。 | <p>○ノーテレビデーを実施することで家族の団欒の時間ができた。「生活リズム向上全国フォーラム」への参加により、子どもたちの望ましい基本的な生活習慣を育成できるための保護者への良い意識付けの機会になった。(32名参加)</p> <p>●今後、「ノーテレビデー」、「早寝早起き朝ごはん」等を更に推進・啓発していく必要がある。</p> | C | |
| | <p>(3)家庭教育指導者の育成</p> <p>家庭教育支援事業の計画・実施を行ったり、市内の幼稚園、小学校で行われる家庭教育講座や家庭教育学級で、家庭教育の重要性や子どもの生活リズムの向上について指導、助言したりするための人材を育成できるよう国や県が開催する講座への参加を促し、啓発活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育推進リーダー研修への参加。 | <p>○今年度は、計6回、県教委主催の家庭教育推進リーダー研修に市家庭教育担当が参加した。県内市町の家庭教育関係事業の実施内容などについて情報交換等を行った。</p> <p>●今後、家庭教育の重要性や子どもの生活リズム向上について指導・助言を行っていく。</p> | B | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------|--|--|------|-------|
| ④ 家庭の教育力の向上 | <p>(4) P T A活動の充実</p> <p>① 会員相互の連携を深め、学校教育の支援活動や学習活動・レクレーション・社会へのボランティア活動等を積極的にすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本P T A全国研究大会「かがわ讃岐路大会」への参加と、市内幼稚園・小学校・中学校の連携強化。 <p>② 地域社会が一体となって子どもたちの健全育成を図れるよう学校と家庭・地域社会をつなぐ重要なパイプ役となれるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市P T A健全育成委員会、市民会議とライオンズクラブ三豊が協力し、「夜回り先生講演会」の実施。 | <p>○日本P T A全国大会は、会員の協力を得て、盛大に開催することができた。2日間にわたり約500名の参加があった。市P T A組織では新しく幼稚園部会を立上げ、幼稚園・小学校・中学校の縦の連携の強化を図った。「夜回り先生 水谷修講演会」は約1,000人の参加があり大変好評であった。</p> <p>●今後、全国大会だけでなく四国大会や県大会への参加を通して、資質の向上を図るとともに、市P T A組織の連携強化と指導者研修会を実施して更なる資質の向上を図る。市P T A健全育成委員会としてだけでなく、他の青少年育成団体などと協力して更なる青少年の健全な育成を推進していく。</p> | B | 生涯学習課 |
| | <p>(5) 子どもの読書活動の推進</p> <p>① 乳幼児から読書に親しむ環境づくりや、家庭、地域社会、学校など社会全体で読書活動推進に取り組むため、三豊市子どもの読書活動推進計画を策定する。</p> <p>② 絵本を通して親子が触れ合うブックスタート事業を継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども読書活動推進計画の策定とブックスタートを継続した。 | <p>○平成20年度において、地域、家庭、学校等における子どもの読書活動に関する調査を実施し、活動期間を平成21年度から平成25年度までの5年間と定め「三豊市子ども読書活動推進計画」を策定した。</p> <p>●今後は推進計画に基づき、家庭、図書館、学校の連携と図書館ボランティアの協力を得て、子どもの読書活動を推進する。</p> | | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|---------------------|---|--|------|-------|
| ⑤ 進んで運動に親しむ機会の充実 | <p>(1)健康・体力づくり事業の推進</p> <p>① 市体育指導委員会と連携し、スポーツ行事を実施する。また、地域スポーツの支援のために、体育指導委員の資質向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金比羅健脚大会、県外ハイキング大会を実施した。 ・ 四国地区や香川県体育指導委員研修会に参加し、また三豊市体育指導委員研修会を実施した。 <p>② 色々なスポーツが多様化する中で、手軽に楽しく、健康・体力づくりができるようにニュースポーツの紹介を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トランポリン教室を3回、キンボール教室を6回実施した。 | <p>○各スポーツ行事には、幅広い年齢層の人に参加してもらうことで、多くの人に運動することの意識の高揚を図るとともに、体育指導委員の実技研修を通して、指導者の資質向上を図ることができた。ニュースポーツの紹介として、普段は接することのないトランポリンの教室を行うことで、運動することの楽しさを小学生参加者に伝えることができた。</p> <p>●今後はスポーツが多種目化するなかで、参加したいなど思わせるような企画立案が必要。また市民にとって指導的な立場の体育指導委員のさらなる資質向上を図りたい。また、子どもから大人まで、幅広く参加できる教室（運動）の機会の提供を行う。</p> | C | 生涯学習課 |
| | <p>(2)市長杯等各種スポーツ大会、スポーツ教室の充実</p> <p>① 定期的にスポーツに親しんでいる人のために、市長杯等の各種スポーツ大会の開催について、支援協力を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長杯争奪ゲートボール大会をはじめ、18大会を主管団体と共催した。 <p>② 市民に色々なスポーツに接する機会を増やせるよう、スポーツ教室の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨット教室・水泳教室等のスポーツ教室を開催した。 | <p>○多くの市長杯大会を実施することにより、市民にスポーツに接する機会の提供が行えた。スポーツ教室の充実を図るため、ヨット教室や水泳教室を開催することで、新しいスポーツの紹介ができた。</p> <p>●多くの大会を主催したが、今後、より多くの市民が参加できるよう工夫し、体育協会専門部の種目とは別に、新しいスポーツ提案を行いたい。</p> | | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

⑤ 青少年の健全育成

基本方針：地域で見まもり 地域に教わり 地域で育てる

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------|---|---|------|----------|
| ① 青少年教育の充実 | <p>(1)少年期の教育 少年の規範意識や社会的自立意識の向上を図るため、少年を対象として次の取組みを行った。</p> <p>① 中学生対象(市内の各学校から3人ずつ参加)の「一日補導員」体験をJR高瀬駅等で実施した。</p> <p>② 「喫煙防止・万引き防止キャンペーン」を「少年を守る会」と連携して開催した。</p> | <p>○「補導体験」では、JR駅員や警察官等から同世代の問題行動の実態を聞き、規範意識や道徳意識について、改めて考える機会となった。</p> <p>○「喫煙防止・万引き防止キャンペーン」は、駅前等でチラシ配布等を行い、規範意識の向上等を訴えることができた。</p> <p>● 今後は、実施場所等を検討しながら、より効果的な取組みとして継続して実施したい。</p> | B | 少年育成センター |
| | <p>(2)家庭や地域との連携・支援 地域ボランティア活動(「子ども見守り隊」等)への支援充実のほか、「青少年健全育成市民会議」を通じた学校・地域の活動支援を行った。</p> <p>① 校外での少年被害の防止に向けて、「安全安心パトロール隊」の隊員の拡大募集活動に取り組んだ。</p> <p>② 「市民会議」とPTA連絡協議会・三豊ライオンズクラブが共催事業として講演会開催に取り組んだ。</p> <p>③ 新入園児・児童の保護者へ「子育て支援リーフレット」を配布し、「家庭教育の基本」とその重要性の啓発活動を行った。</p> | <p>○「安全安心パトロール隊」の隊員数が435人となり、子どもたちの見守り体制を強化できた。</p> <p>● 不審行動の抑止効果をさらに高めるためにも、隊員の一層の確保(交代)に取り組むこととする。</p> <p>○講演会には約1,000人の市民参加があり、所期の目的を達成できた。</p> <p>●「家族ふれあい。あいさつ運動カレンダー」の配布を含めて、より効果的な健全育成表彰・展示に継続して取り組むこととする。</p> <p>○「子育て支援リーフレット」配布によって、効果的な啓発を行うことができた。</p> <p>●引き続き、家庭・保護者啓発に取り組むたい。</p> | B | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|------------|---|---|------|----------|
| ① 青少年教育の充実 | <p>(3)少年育成センターの運営 「少年の非行を防止し、その保護と健全な育成を効果的に推進する」という少年育成センターの設置目的を達成するため、次の活動に取り組んだ。</p> <p>① 少年の非行や不良行為を未然に防止するため、街頭補導(818回)を通年的に行い、早期発見・早期補導に努めた。また「不審者情報」を22件メール配信した(会員数:1,079人)。</p> <p>② 少年が抱える問題や悩みの早期発見とその解決を図り、また、家族支援を行うため、相談活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>③ 少年育成センター活動の目標達成を目指して、学校・警察や関係機関・団体の中核となって連携強化に努めた。</p> <p>④ 有害環境の浄化を図るため、「少年を守る会」と連携して、市内15箇所に設置してある白ポストから有害図書等の回収・処分を定期的に行った。</p> | <p>○街頭補導参加者は延べ 1,925人に及び、「愛の一声かけ」も5,807回に達している。</p> <p>●月2回開催の「常駐会」の情報交換とともに、引き続き街頭補導を実施し、その効果を高めたい。</p> <p>○相談件数は、来所・電話等を合わせて49人(延べ220回)である。</p> <p>●関係機関との連携体制の強化を図りつつ、継続実施したい。</p> <p>○地域や学校・警察・行政機関の代表で構成する「市子ども安全安心まちづくりボランティアサミット」を6回開催し、相互の連携強化や情報共有を図った。</p> <p>●引き続き、ネットワーク体制の構築を目指して中核的役割を果たしていきたい。</p> <p>○この取り組みによって、4,072点を回収・処分でき、有害図書等の不適切処分等の防止に寄与した。</p> <p>●「少年を守る会」との円滑な連携のもと、引き続き取り組みを強化し推進したい。</p> | B | 少年育成センター |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

⑥ 人権教育の推進

基本方針：人権が尊重される社会の実現を目指して

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------|--|--|------|-------|
| ① 学校人権教育の推進 | (1) 人権教育教材集の活用 ① 2007年度に作成した人権教育教材集「人権」の活用により地区を有する学校との格差の是正及び解消を図る。 ・ 人権教育教材の活用と学校間格差の解消。 ② 2008年度に就学前の人権・同和教育教材を作成し、今後の人権・同和教育を推進していく。 ・ 就学前教育教材の新規作成。 | ○全小中学校において教材集の活用計画を立て、実践を行った。 ●今後、実践結果を踏まえた、教材内容の改訂を行い充実を図っていく。 ○人権教材（紙芝居）作成のため、検討委員会・編集委員会を設置し二種類の教材作成を行った。 ●今後も新規教材の作成を進めていく。 | B | 人権教育課 |
| | (2) 保・幼・小・中学校の連携 ① 学力・進路支援担当及び人権・同和教育主任の研修会を持ち、人権・同和教育の共通理解を図り連携して取り組む。 ・ 学力・進路支援担当教員等の意見交換の実施。 ② 定期的に行われている保・幼・小・中学校長会や学校人権教育部会において、人権教育の在り方について情報交換を行い連携を図る。 ・ 小、中学校長会での人権教育推進の周知。 | ○市内の学校を地域3ブロックに分け、人権教育研修協議会として情報交換を行った。また、活用検討委員会により授業実践により教材の検討を行った。 ●今後、市全体としての意見交換会の充実を目指す。 ○全小中学校において「なかまづくり」の教材について取り組んだ。 ●校長会での情報交換及び連携の強化を図っていく。 | B | |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
 D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------|--|--|------|-------|
| ① 学校人権教育の推進 | <p>(3) 人権教育の充実</p> <p>① 実践授業の公開とその評価を行い、人権教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育公開授業の開催、授業の評価懇談会。 <p>② 社会教育指導員による授業実践の指導により充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育指導員による実践授業の指導。 <p>③ 人権教育年間指導計画を作成し、計画的な実施により人権教育を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育年間指導計画の作成及び計画的実践。 <p>④ 新規転入職員に対し、市の実態と人権教育の取り組みについて、周知伝達を図る研修を行い、職員の意識の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規転入職員に対する市内人権教育の現状及び取組の伝達周知研修の実施。 | <p>○社会科での身分制度の授業公開、教材集での授業公開ができた。</p> <p>●全学校での計画的な実施を図っていく。</p> <p>○公開授業後、授業内容の検討会を実施し意見交換で指導員等により指導をした。</p> <p>●今後、全学校での公開授業及び検討会の実施を目指す。</p> <p>○活用教材の数に違いのあるものの各校において指導計画を作成した。</p> <p>●今後は、活用教材数の統一及び増加を図る。</p> <p>○3ブロック毎の部会・協議会の取組の中で実施、三豊市の現状と取組を周知した。</p> <p>●将来的には全学校を対象とした研修会等の実施及び内容の充実を図っていく。</p> | B | 人権教育課 |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------|---|---|------|-------|
| ② 社会人権教育の推進 | <p>(1)研修会の充実</p> <p>① PTA総会や公開授業の機会を捉え、保護者等への研修会を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P T A総会や公開授業での、保護者等への研修会の開催。 <p>② 公民館・隣保館等の社会教育施設において、学習活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館・隣保館等での学習研修会の開催。 <p>③ 身近な人権問題や参加型学習等の内容の工夫・改善を行う研修会の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権研修会の内容の工夫・改善の充実を図る。 | <p>○授業参観、6年生の「身分制度」の授業などに保護者参加により行った。</p> <p>●今後、実施校の拡大及び参加保護者数の増加を目指す。</p> <p>○市内各公民館への研修会開催の依頼を行った。講演会は、19年度1件から20年度5件と増加した。豊中地区で5地区実施した。</p> <p>●今後、各公民館等での実施及び定例化をすすめていく。</p> <p>○前年度作成の啓発資料の研修会時等の配布により啓発を図った。</p> <p>●今後は、関係する会合等での啓発資料の活用を図っていく。</p> | C | 人権教育課 |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

| 項目 | 具体的な取組内容及び実施した事業内容 | ○得られた成果 ●課題と今後の取組み | 内部評価 | 担当課等 |
|-------------|--|---|------|-------|
| ② 社会人権教育の推進 | <p>(2)人権教育指導者の育成</p> <p>① 社会教育関係団体や公民館等の人権教育指導者の研修会や学校・運動団体との交流研修を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育指導者の研修及び運動団体との交流の実施。 <p>② 市職員の旧町における人権意識の格差の是正と意識の向上のための研修会を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員対象の人権研修会の開催。 | <p>○初任者対象の県主催の研修会への参加、運動団体主催の会合への参加をした。</p> <p>●指導者研修の開催や公民館等地域での講演会の開催を図っていく。</p> <p>○全職員対象に年一回の人権研修会のほか、隣保館又は県主催の研修会への参加を行った。</p> | C | 人権教育課 |

※内部評価欄： A・・・十分な成果を得た B・・・ほぼ成果を得た C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要
D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要 E・・・中止、廃止

資 料

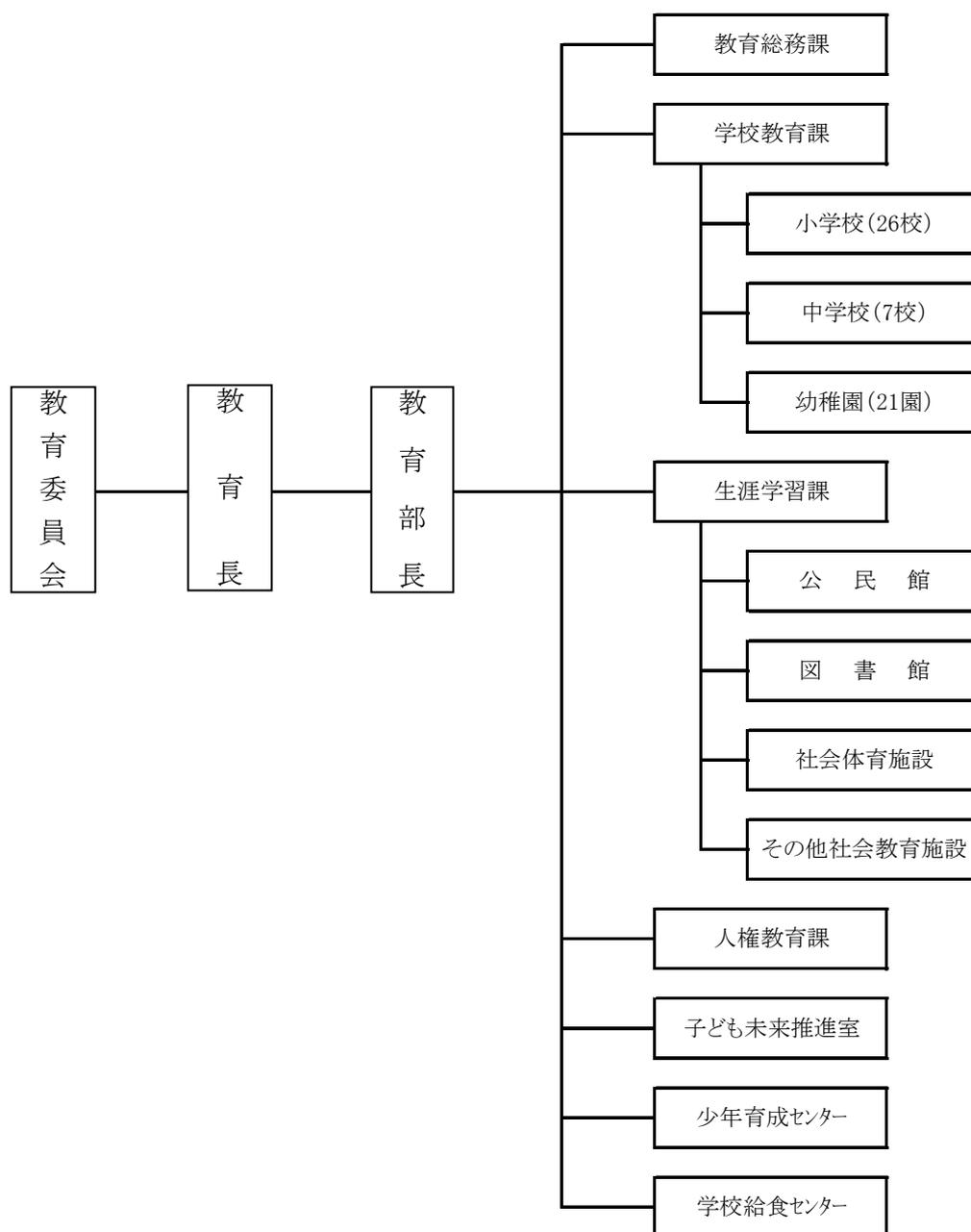
1 教育委員会委員及び組織

(1) 教育委員会委員

| 職 名 | 氏 名 | 教育委員の任期 |
|-------|-----------|-------------------------|
| 委 員 長 | 西 村 忠 臣 | 平成18年3月31日 ～ 平成22年2月28日 |
| 委員長代理 | 武 田 耕 道 | 平成19年4月1日 ～ 平成22年2月28日 |
| 委 員 | 建 林 伊 都 子 | 平成20年2月29日 ～ 平成24年2月28日 |
| 委 員 | 三 池 幸 恵 | 平成21年3月1日 ～ 平成25年2月28日 |
| 教 育 長 | 白 杵 正 明 | 平成19年4月1日 ～ 平成23年3月31日 |

(2) 教育委員会の組織

(平成20年4月1日現在)



2 公立学校施設

(1) 小学校

平成20年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

| 学校名 | 学級数 | 児童数 | 本務教員数 | 本務職員数 | 建物面積 | | 屋外運動場 |
|--------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|---------|
| | | | | | 校舎 | 屋内運動場 | |
| 上高瀬小学校 | 9 | 232 | 16 | 2 | 3,744 | 692 | 15,095 |
| 勝間小学校 | 11 | 225 | 18 | 3 | 3,259 | 792 | 11,359 |
| 比地小学校 | 8 | 172 | 15 | 3 | 2,811 | 1,209 | 21,352 |
| 二ノ宮小学校 | 7 | 102 | 12 | 2 | 2,847 | 694 | 6,912 |
| 麻小学校 | 8 | 135 | 12 | 2 | 3,299 | 741 | 8,204 |
| 辻小学校 | 7 | 120 | 12 | 5 | 2,066 | 772 | 5,281 |
| 河内小学校 | 7 | 46 | 8 | 5 | 1,924 | 521 | 3,318 |
| 大野小学校 | 8 | 132 | 13 | 4 | 2,918 | 636 | 5,472 |
| 神田小学校 | 6 | 69 | 10 | 4 | 2,299 | 543 | 4,621 |
| 大見小学校 | 8 | 184 | 12 | 2 | 3,558 | 944 | 11,743 |
| 下高瀬小学校 | 10 | 202 | 16 | 2 | 7,867 | ①1,222 | 8,778 |
| 吉津小学校 | 7 | 158 | 12 | 2 | 3,527 | 922 | 17,357 |
| 桑山小学校 | 7 | 131 | 11 | 2 | 2,027 | 836 | 5,869 |
| 比地大小学校 | 6 | 105 | 9 | 3 | 1,803 | 836 | 5,308 |
| 笠田小学校 | 6 | 140 | 10 | 2 | 2,223 | 843 | 7,956 |
| 上高野小学校 | 8 | 133 | 14 | 2 | 2,224 | 836 | 7,820 |
| 本山小学校 | 7 | 138 | 11 | 2 | 2,275 | 729 | 6,334 |
| 松崎小学校 | 8 | 179 | 13 | 4 | 3,695 | 560 | 3,244 |
| 詫間小学校 | 19 | 459 | 29 | 9 | 6,583 | 996 | 9,889 |
| 大浜小学校 | 5 | 39 | 7 | 3 | 1,959 | ②1,091 | 10,749 |
| 箱浦小学校 | 5 | 30 | 6 | 4 | 1,738 | 519 | 4,300 |
| 栗島小学校 | 平成16年度より休校 | | | | 1,119 | - | 1,424 |
| 仁尾小学校 | 14 | 332 | 24 | 4 | 5,871 | 962 | 12,565 |
| 曾保小学校 | 6 | 35 | 7 | 4 | 1,719 | 587 | 3,154 |
| 財田上小学校 | 7 | 113 | 11 | 2 | 2,417 | 700 | 5,131 |
| 財田中小学校 | 7 | 94 | 11 | 2 | 2,085 | 619 | 4,342 |
| 計 | 201 | 3,705 | 319 | 79 | 77,857 | 19,802 | 207,577 |

① 下高瀬小学校の屋内運動場は、三野町体育センターが兼ねている。

② 大浜小学校の屋内運動場は、みどりの村管理センターが兼ねている。

(2) 中学校

平成20年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

| 学校名 | 学級数 | 生徒数 | 本務教員数 | 本務職員数 | 建物面積 | | 屋外運動場 |
|------------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | | | | | 校舎 | 屋内運動場 | |
| 高瀬中学校 | 15 | 399 | 31 | 6 | 8,410 | 1,805 | 13,676 |
| 三野津中学校 | 9 | 259 | 21 | 4 | 6,686 | 1,035 | 13,396 |
| 豊中中学校 | 10 | 306 | 23 | 5 | 4,706 | ③3,389 | 10,930 |
| 詫間中学校 | 13 | 330 | 27 | 7 | 7,961 | 1,252 | 13,620 |
| 栗島中学校 | 平成18年度より休校 | | | | 969 | 350 | 1,207 |
| 仁尾中学校 | 7 | 158 | 18 | 2 | 4,606 | 898 | 15,781 |
| 和光中学校 | 5 | 109 | 14 | 3 | 3,933 | 1,442 | 10,562 |
| 三豊中学校(組合立) | 17 | 481 | 34 | 8 | 6,249 | 820 | 13,122 |
| 計 | 76 | 2,042 | 168 | 35 | 43,520 | 10,991 | 92,294 |

③ 豊中中学校の屋内運動場は、豊中町体育館が兼ねている。

(3) 幼稚園

平成20年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

| 幼稚園名 | 学級数 | 園児数 | 本務教員数 | 本務職員数 | 建物面積 | 運動場面積 |
|--------|------------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 上高瀬幼稚園 | 4 | 69 | 7 | - | 783 | 2,438 |
| 勝間幼稚園 | 3 | 60 | 9 | - | 678 | 1,605 |
| 比地二幼稚園 | 3 | 70 | 6 | - | 651 | 778 |
| 二ノ宮幼稚園 | 3 | 47 | 5 | - | 486 | 1,346 |
| 麻幼稚園 | 3 | 47 | 6 | - | 873 | 541 |
| 河内幼稚園 | 3 | 19 | 5 | - | 382 | 897 |
| 大野幼稚園 | 3 | 30 | 4 | - | 590 | 1,110 |
| 神田幼稚園 | 2 | 11 | 3 | - | 415 | 894 |
| 辻幼稚園 | 3 | 33 | 4 | - | 551 | 778 |
| 大見幼稚園 | 3 | 74 | 6 | - | 857 | 2,751 |
| 下高瀬幼稚園 | 4 | 79 | 8 | - | 751 | 1,405 |
| 吉津幼稚園 | 4 | 65 | 7 | - | 832 | 2,094 |
| 豊中幼稚園 | 12 | 279 | 21 | 4 | 2,941 | 2,420 |
| 詫間幼稚園 | 6 | 122 | 8 | - | 1,181 | 770 |
| 松崎幼稚園 | 3 | 53 | 5 | - | 531 | 1,891 |
| 大浜幼稚園 | 2 | 12 | 4 | - | 668 | 511 |
| 箱浦幼稚園 | 1 | 4 | 3 | - | 363 | 157 |
| 栗島幼稚園 | 平成13年度より休園 | | | | 226 | 262 |
| 平石幼稚園 | 5 | 116 | 10 | - | 1,141 | 1,800 |
| 曾保幼稚園 | 2 | 13 | 4 | - | 402 | 472 |
| 財田幼稚園 | 4 | 84 | 8 | 1 | 825 | 400 |
| 計 | 73 | 1,287 | 133 | 5 | 16,127 | 25,320 |